

(お 知 ら せ)



平成 23 年 12 月 2 日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 運転状況について（12月2日現在）

1 号 機 沸騰水型（35万7千kW）	第33回定期検査中 平成23年1月26日～未定*
2 号 機 加圧水型（116万kW）	第18回定期検査中 平成23年8月29日～未定*

（ ）内は定格電気出力

*：福島第一原子力発電所事故に対する安全対策の実施状況を踏まえ、地元のご理解を得ながら計画します。

2. 故障等の状況について（平成23年11月3日～平成23年12月2日）

（1）法律に基づく報告事象

なし

（2）安全協定に基づく異常時報告事象

なし

（3）保全品質情報等

なし

3. 敦賀発電所3，4号機 準備工事について（12月2日現在）

（1）建設準備工事

現在、原子炉建屋背後斜面の追加切取工事のうち、安全対策として法面補強工事等を行っています。

（2）仮設工事関係

浦底湾側の仮設用地内に設置するコンクリートプラント設備のうち本体設備の工事は完了し、現在、付属設備の工事を行っています。

4. 東北地方太平洋沖地震関係

当社は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に起因する東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に関連し、11月7日、14日に全交流電源喪失を想定した夜間訓練を実施しました。

国への報告として、11月18日に「地震動及び津波の影響評価に関する安全性評価実施計画書」、11月25日に「緊急安全対策報告書における誤りの有無の再調査結果」を提出しました。また、福井県および敦賀市へ「ソフト面等の安全対策実行計画」を提出しました。

詳細については別紙1をご参照下さい。

当社は今後も全力を挙げて事故の情報収集、分析を継続し、新たな知見が得られた場合には必要な対策について、迅速かつ的確に反映してまいります。

5. その他

(1) げんでんふれあいギャラリー

＜個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。＞

1) 第四回 越前大自慢写真コンテスト作品展

〔越前町では、四季折々の表情や町の景色、伝統行事、人々の生活習慣や日々の暮らしの中で、越前町の魅力を表現した写真を募集し、コンテストを開催されています。第四回の入賞作品を19点展示しています。〕 (11/22～12/4)

2) 動物たちにぬくもりを！動物あいごパネル展

〔動物たちとの共生を推進する会（代表：藤田 幸雄様）の「動物あいごパネル展」です。会の紹介、「命の影と光」写真パネル、子供たちの動物愛護ポスター等、動物愛護についての作品を約150点展示予定です。〕 (12/6～12/11)

3) フラワーアレンジメント素敵にみせる花あわせ

〔Nフラワーデザインスクール福井県支部代表講師として活躍されている、内藤美代子様の作品展です。あらゆる材料で「花と共に生きる・共生する」をテーマに表現されたオリジナリティ溢れる作品約25点を展示予定です。〕

(12/13～12/18)

4) W夫婦写真展“旅と歴史”～想いをあなたに…～

〔二組の夫婦（森瀬様、大橋様）がこれまでに県内外を小旅行した時に、それぞれの土地で心に残った四季の自然の風景・花・石仏等の伝統文化・歴史遺産を中心に撮りためた作品を約30点展示予定です。〕 (12/20～12/25)

5) 「2011 福井県小・中学生科学アカデミー賞」優秀作品展

〔福井県内の小学生（4年生以上）と中学生の個人・団体から応募があった理科学研究作品のうち、最優秀賞など上位入賞20点を展示、紹介予定です。〕

(12/27～1/15)

(2) げんでんふれあい福井財団イベント

＜福井県内の芸術・文化振興活動として以下の事業を実施しています。＞

第14回ふるさと大賞写真コンテスト作品募集

応募締切：12月9日（金）

テーマ：ふるさとふくいの活力・笑顔

(3) 次世代層等への教育支援活動関連イベント

＜次世代層等への環境・エネルギー等に関する教育支援活動として、以下の事業を実施します。＞

1) “げん丸塾” エネルギー体験学習（電気のふるさとを見学しよう！②）

対象：げん丸塾生（会員制）、エネルギー科学教室生（市教委公募）

場所：北陸電力㈱敦賀火力発電所（敦賀市）

日本原子力発電㈱敦賀原子力館（敦賀市）

実施日：12月3日（土）

2) “げん丸塾” 会員のつどい

〔科学マジックショーと実験ショー〕

対象：げん丸塾生（会員制）

場所：プラザ萬象小ホール（敦賀市）

実施日：12月11日（日）

(4) 地域交流イベント

＜地域との共生・交流活動として、以下の事業を実施します。＞

ミニ原子力講座とカルチャー教室

〔ミニ原子力講座とプリザーブドフラワー教室（午後の部・夜の部）〕

対象：一般公募（定員各部45名）

場所：敦賀市福祉総合センター（あいあいプラザ）

日時：12月7日（水） 午後の部 13：30～15：00

夜の部 18：30～20：00

以上

東北地方太平洋沖地震への対応実績（11月3日以降）

（1）全交流電源喪失を想定した夜間訓練について

敦賀発電所では、夜間においても緊急時対応が確実に実施できるよう、全交流電源喪失を想定した緊急時対応夜間訓練を実施しました。

1）実施日時

平成23年11月7日、14日 17：30～20：00頃

2）実施場所

敦賀発電所2号機屋外（サービス建屋前および復水タンクの周辺）

3）想定事象・訓練内容

震度6弱の大地震が発生し、大津波警報発令後、発電所に津波が来襲。津波により、2号機において全交流電源が喪失したとの想定で、電源確保訓練、水源確保訓練、津波による瓦礫除去・消防自動車等の通行ルートを確認する訓練を実施。訓練にあたっては、構内道路周辺の街路灯を消して暗い環境で訓練を実施。

4）訓練実施者

電源確保及び水源確保に係る実働訓練は、社内の津波対策関係規程に定められた電源確保要員10名（電気要員・ケーブル施設担当）及び水源確保要員6名が実施。なお、上記参加者以外に、訓練状況評価および記録係等で約30名が訓練に参加。

（平成23年11月14日の訓練の状況）



〈ホイールローダーを先頭にした車列〉



〈電源車へのケーブル接続〉

当社は、今後も継続的に訓練を行い、電源確保および水源確保等に係る要員の技能の習熟を図ってまいります。

(2) 東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた地震動及び津波の影響評価に関する安全性評価実施計画書について

当社は、平成18年9月19日付で、原子力安全委員会により「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」（以下「耐震指針」という。）が改訂されたことに伴う、原子力安全・保安院（以下「保安院」という。）による指示に基づき、改訂された耐震指針に照らした既設発電用原子炉施設の耐震安全性評価を実施しており、これまでに、活断層評価、基準地震動 S_s の策定及び主要な施設の耐震安全性評価などをまとめた、耐震安全性評価中間報告書を提出し、国等による審議が行われていました。

その後、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴い、平成23年11月11日付、保安院からの「平成23年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価の実施について」の指示（平成23・11・02 原院第4号 平成23年11月11日）を受け、この指示に基づき、当社が実施する評価の計画についてとりまとめた安全性評価実施計画書を、平成23年11月18日、保安院に提出しました。

今後は、本計画書に基づき評価・報告を実施してまいります。

（平成23年11月18日発表済）

(3) 福島第一原子力発電所事故を踏まえたソフト面等の安全対策実行計画について

当社は、これまで福島第一原子力発電所事故を踏まえ、福井県からのご要請等を頂き、敦賀発電所において、安全性向上対策を行ってまいりましたが、平成23年10月17日に福井県から、改めてソフト面等の安全対策実施のご要請を受け、発電所支援体制の強化策として支援施設の整備や、防潮堤の設置等について、その具体的計画を取り纏め、平成23年11月28日、福井県および敦賀市に報告いたしました。

（平成23年11月28日発表済）

（４）福島支援の実績について

当社及び当社関係会社では、東京電力並びに関係自治体等に対し、応援要員の派遣、消防ポンプ車や放射線測定器等の資機材の提供を行っています。

１）要員派遣実績（１１月３０日現在）

当社及び当社関係会社から６人（このうち敦賀地区からは２人）派遣中。

（３月１５日以降の累計は、全社合計で延べ３，９２２人・日）

２）資機材の提供実績（１１月３０日現在）

消防ポンプ車 １台

放射線測定器類（サーベイメータ、ポケット線量計等） 約１３０台

防護服 約３，５００着

その他（放管資機材）

当社は引き続き安全を最優先に、皆様に安心していただける発電所を目指し運営にあたるとともに、今回の福島第一原子力発電所における事故を踏まえて、必要な対策を速やかに実施し、発電所の安全確保に万全を期してまいります。

以上